



Experts' Seminar Drug Addicts Recovery Supports in East Asia 2019

東アジア薬物依存者回復支援者（DARS）養成セミナー

2019年 2月 23日 土 24日 日

龍谷大学深草キャンパス・紫光館4階法廷教室

京都市伏見区深草塚本町 67



セミナー参加費 資料代 5,000 円 懇親会 3,000 円

Drug Addicts Recovery Support
DARS

わたしたちは、この30年余りの間、欧米の薬物対策モデルを導入し、民間主導の回復支援スキームを展開してきました。このような民間団体による回復支援のスキームを、東アジア地域でも展開するため、このたび、「東アジア薬物依存者回復支援者（DARS）養成セミナー」を開催することになりました。

ともすれば、内向きになりがちな回復支援活動を国際化するためのキック・オフと位置づけています。たくさんのご参加をお待ちしております。



参加お申込みサイト QR コード：<https://goo.gl/forms/llfNShhhzbnLNo2B3>
龍谷犯罪学研究センター Web ページリンク：<https://www.ryukoku.ac.jp/nc/event/entry-3017.html>

主 催：薬物依存者回復支援（Drug Addicts Recovery Supports：DARS）、龍谷大学犯罪学研究センター（CrimRC）

研究助成：国際交流基金アジアセンター アジア・市民交流助成プログラム、JST/RISTEX（社会技術研究開発事業）

「安全な暮らしをつくる公/私空間の構築」「多様な嗜癖・嗜虐行動からの回復を支援するネットワークの構築」（ATA-net）、
文部科学省私立大学研究ブランディング事業「新時代の犯罪学創生プロジェクト～犯罪をめぐる「知」の融合とその体系化～」

協 力：NPO 法人アパリ、木津川ダルク

お問合せ：龍谷大学 犯罪学研究センター（CrimRC）

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67

龍谷大学 研究部（人間・科学・宗教総合研究センター）

TEL 075-645-2184 FAX 075-645-2240

E-mail crimrc2016@ad.ryukoku.ac.jp

WEB <https://crimrc.ryukoku.ac.jp/>



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

380
YEARS
ANNIVERSARY
2019年に
創立380周年

〈第1日目〉10:00 開始

開会の挨拶

【企画の趣旨】

「日本の薬物政策の現状と課題 ～官主導？ 民主導？ それとも、その間か？～」石塚 伸一（龍谷大学犯罪学研究センター長）

【日本における市民主導の回復支援】

「ダルクの過去、現在、未来」

市川 岳仁（NPO 法人三重ダルク代表）

「薬物裁判におけるアパリの活動」

尾田 真言（NPO 法人アパリ 事務局長）

「刑務所における薬物治療」

谷家 優子（姫路少年刑務所 カウンセラー / 大阪心理教育センター カウンセラー）

「回復における家族の役割」

安高 真弓（日本社会事業大学大学院 研究員）

「地域の医療・福祉における回復支援の現在」

西念 奈津江（岡部診療所 ソーシャルワーカー）

「受刑経験者の回復支援」

五十嵐 弘志（NPO 法人マザーハウス 代表）

【東アジア地域における市民主導の回復支援】

「タイにおける薬物政策」

プラパブン・チュチャロエン（タイ・マヒドン大学教授）

「フィリピンにおける薬物政策」

レニール・クリストバル（ファミリー・ウェルネス・センター代表）

「ネパールにおける薬物政策」

スーヤス・ラジャハンダリ（ザ・リカバリング・グループ）

「台湾における薬物政策」

任 國華（財団法人中国信託反毒教育基金會）

「韓国における薬物政策」

チョー・スンナム（乙支大学 医師）

「日本における薬物政策」

ディビッド・ブルースター（龍谷大学犯罪学研究センター 博士研究員）

【懇親会（有料）】

〈第2日目〉10:00 開始

【東アジア地域における治療プログラム】

「条件反射制御法の理論と実践」

長谷川 直実（デイケアクリニックほっとステーション 院長 医師）

「日本におけるマトリクス・プログラムの展開」

原田 隆之（筑波大学 教授 臨床心理士）

「日本における12ステップとNA」

加藤 武士（NPO 法人アパリ・ウエスト / 木津川ダルク 代表）

「日本におけるプロジェクト・オンプレの展開」

近藤 京子（PHJ設立準備委員会 代表）

「タイにおける薬物治療」

チャンチャイ・トングプラニット（タンヤラックコーンケン病院 医師）

「フィリピンにおける薬物治療」

マリアノ・ヘムブラ（ドン・ホセ S モンフォート・メディカル・センター・エクステンション病院 医師）

「韓国の薬物治療」

チョー・スンナム（乙支大学 医師）

【“えんたく”で分かち合う共通の課題～アジアの回復支援の未来～】

司会：土山 希美枝（龍谷大学 教授） / ファシリテート・グラフィック：塩見 牧子（龍谷大学犯罪学研究センター 嘱託研究員）

中村 正（立命館大学 教授）

近藤 恒夫（日本ダルク 代表）

原田 隆之（筑波大学 教授 臨床心理士）

プラパブン・チュチャロエン（マヒドン大学アディクション研究修士課程プログラム 所長）

カンニカー・シッティボン（タンヤラックコーンケン病院 臨床心理士）

ベンジャミン・レイヤス（デンジャラス・ドラッグ・ボード）

長谷川 直実（デイケアクリニックほっとステーション
院長 医師）

大熊 啓介（NPO 法人マザーハウス スタッフ）

猪浦 智史（国立研究開発法人国立精神・
神経医療研究センター 研究員）

松浦 良昭（三河ダルク 代表 / ソウルダルク 代表）

【閉会式】

本セミナーは、龍谷大学創立 380 周年を記念し、薬物依存者回復支援（DARS）と龍谷大学 犯罪学研究センター（CrimRC）が主催し、多くの関係団体・個人のご協力を得て実施するものです。



龍谷大学深草キャンパス 紫光館 地図

